

A photograph of two people jogging on a paved path in a park. The person on the left is wearing a coral-colored t-shirt and light gray shorts. The person on the right is wearing a white t-shirt with yellow accents and black leggings. The background is a blurred green park with trees and a bench. A large, semi-transparent white triangle is overlaid on the right side of the image.

野村ビジネスサービス株式会社 健康白書

NOMURA BUSINESS SERVICES CO., LTD.
Well Being Report

NOMURA
野村ビジネスサービス



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

トップメッセージ

NOMURA
野村ビジネスサービス

野村ホールディングス株式会社
執行役員 CHRO 兼 CHO
野村證券株式会社 常務 人事担当

尾崎 由紀子



野村グループでは創業時より人材を最も重要な財産と位置付けており、多様な価値観や高度な専門性を持った人材が活躍できる環境づくりを推進することで、グループの企業価値向上を目指しています。その基盤となるのは社員の心身の健康と考え、2016年に「NOMURA健康経営宣言」を採択し、健康保持・増進の取り組みを推進しています。

2025年12月25日、野村は創立100周年を迎えます。今後も「挑戦」「協働」「誠実」という3つの大切な価値観を軸に、各種制度や施策の充実およびご家族へのサポートを行い、社員一人ひとりが自らのもつ能力や個性を十分に発揮し、いきいきワクワク働き続けられる環境を整備してまいります。

野村ビジネスサービス株式会社
代表取締役社長

三輪 悦朗



当社が事業を通じて培ってきたノウハウを活用し、業務効率の改善・向上を推し進めていくことが、社員の心身の健康や経営課題の解決につながり、健康経営が目指す「社員一人ひとりのWell-being」に自然に結びつくと考えています。

当社では、コミュニケーション促進やキャリア自律支援等の職場環境整備、社内イベントやセミナー等を通じた健康増進施策等に積極的に取り組んでいます。健康経営を通じて社員の健康意識を高め、それに応えられるよう様々な形で支援してまいります。

NOMURA健康経営宣言

野村グループの最大の財産は人材です。

社員一人ひとりが自らのもつ能力や個性を十分に発揮し、活躍するためには、心身ともに健康であることが重要です。

この理念のもと、野村グループは社員の健康保持・増進を経営的な視点でとらえ、主体的に取り組んでいきます。



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

野村グループ 健康経営の推進

金融資本市場の力で、世界と共に挑戦し、豊かな社会を実現する

野村で働くすべての人が、
単に健康になるのではなく、肉体的にも精神的にも、
社会的にも満たされた状態(Well-being)になること

アブセンティーズムの
低減

プレゼンティーズムの
低減

ワークエンゲージメント
の向上

生活習慣病
対策

喫煙対策

エンゲージ
メント向上・
メンタル
ヘルス対策

がん対策

女性の
健康促進



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

野村グループ 健康経営推進体制



主な会議体

	出席者	内容
健康経営 推進協議会	- CHO - 人事担当役員 - 統括産業医 - 健康保険組合 - グループ人事企画部	健康経営の推進に関する方針決定・報告 健康経営の進捗状況および参加各社の取り組みの共有
健康管理事業 推進会議	- 健康保険組合 - 健康管理担当者	健康保険組合および各社の健康管理事業についての 共有および意見交換
衛生委員会	- 産業医 - 保健師 - 衛生管理者	社員の健康障害を防止し、健康の保持増進に つなげるための施策の検討



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

健康経営の最終的な目標指標

	2022	2023	2024	2025 (目標値)
 アブセンティーズム※¹低減 (百万円)	8.0	6.3	13.0	低減させる
 プレゼンティーズム※²低減 (%)	15.6	17.3	15.6	10
 ワークエンゲージメント※³向上	48.8	48.3	49.7	60

※1 **アブセンティーズム**：傷病による欠勤にともなう損失額。当事業年度の平均年収に社員数と傷病休暇利用率を乗じて算出しています。ウェルビーイングの取り組みを推進することにより低減させることが目標ではありますが、体調不良時に休みやすい環境整備も必要であるため、現時点では目標値は出さずモニタリングに努めます。

※2 **プレゼンティーズム**：何らかの疾患や症状を抱えながら出勤し、業務遂行能力や生産性が低下している状態を示す値。測定尺度のひとつであるSPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版）に基づき、健康意識調査における回答を平均し、100%から当該平均値を控除して算出しています。

※3 **ワークエンゲージメント**：仕事から活力を得て誇りを感じ、従業員がいきいきと仕事をしている状態を示す値。ストレスチェック（新職業性ストレス簡易調査票）における回答を平均し、全国平均を50とした偏差値に換算して算出しています。

 喫煙率(%)	10.29	8.98	8.31	8
 育児休業取得率(%)	100	100	100	100
 年次有給13日取得 達成率(%)	92	99	99	100



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

その他の項目（2024年度）



定期健康診断受診率

100%



適正体重者率

67.66%



二次検査受診率

100%



特定保健指導参加率

86%



ストレスチェック受検率

99.4%



Well-being研修受講率※1

100%



健康経営の取組に対する満足度※2

79.4%

※1 健康（メンタル・フィジカル、男性・女性の健康）に関する研修

※2 健康意識調査にて「満足している」「やや満足している」と回答した比率



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

健康経営のゴールと取り組みとのつながり

NOMURA
野村ビジネスサービス





基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

生活習慣病

喫煙

エンゲージメント

ヘルスリテラシー

NOMURA
 野村ビジネスサービス

ウォーキングイベントの実施

健康増進とコミュニケーション活性化を目的として、ウォーキングイベントを実施。

自社全体

5月は「さつきラン&ウォーク」へ参加。

健康促進と社員のコミュニケーション強化を目的としたスポーツイベントで、企業単位で歩数を競っている。

2025年度、当社は5度目の参加となり、社内イントラネットに特設サイトを開設する新たな試みを行った。個人ランキングの進捗をリアルタイムで更新、ウォーキング時に撮影した写真の掲載をおこない参加意欲を高めた。

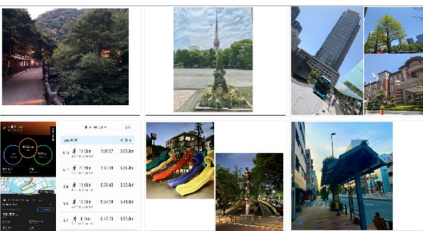
2025年度はウォーキングの部において、694社中、226位の成績を修めた。



さつき・ラン&ウォーク 企業対抗戦サイト

「野村で働くすべての人が、肉体的にも精神的にも、社会的にも満たされた状態 (Well-being) になる」
NOMURA Well-beingを実現するため、NBSはさつきラン&ウォークに参加します。

< ほっと一息写真館 >



◇ランキング

■企業対抗戦

——位 / ——法人・事業所中 (一人あたり ——歩)

■個人別ランキング

1位	さん	歩
2位	さん	歩
3位	さん	歩
4位	さん	歩
5位	さん	歩
6位	さん	歩
7位	さん	歩
8位	さん	歩
9位	さん	歩
10位	さん	歩

グループ共通

部署ごとの平均歩数を競うオンラインのウォーキングイベント「ノム☆チャレ (NOMURA健康チャレンジ)」を毎年実施しています。歩数や写真を全社員で共有し、「いいね!」やコメントの投稿で応援し合うことで、社員のコミュニケーション向上や運動習慣の定着につなげています。部署の有志で登山したり、ウォーキングしながらゴミ拾いをするなど、健康や社会貢献のためにそれぞれが工夫をしながら参加しました。同時に参加者の歩行距離に応じた金額の寄付を行っており、2023年度は「認定特定非営利活動法人キッズドア (NPO Kidsdoor)」に寄付しました。社員個人への健康増進のみならず、寄付という形での社会貢献につなげています。本施策への投資額は寄付額と同額の30万円です。



自社部店

部店ごとに自発的にウォーキングイベントを企画し、健康推進を図っています。勤務後(夜)に移転後の本社まで歩く・避難経路を歩くなど、各部工夫をこらした取り組みが行われています。





基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

生活習慣病

喫煙

エンゲージメント

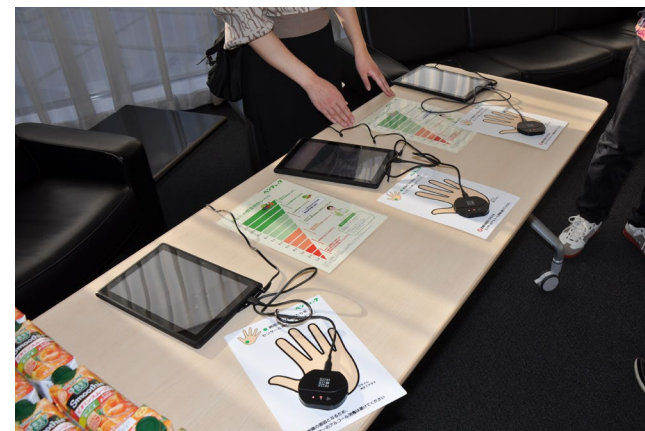
ヘルスリテラシー

NOMURA
野村ビジネスサービス

独自事業 社内イベントでのベジチェックを実施

複数事業所にわたる従業員が一堂に会する社内イベントにて、推定野菜摂取量測定器「ベジチェック®」を実施。

「NOMURA健康経営宣言」の説明をしたうえで、カゴメ野菜スムージーを配布したこともあり、社員の食生活の改善意識を高めることができた。





基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

生活習慣病

喫煙

エンゲージメント

ヘルスリテラシー

NOMURA
野村ビジネスサービス

グループ 共通 喫煙対策

望まない受動喫煙の防止や働きやすい環境づくりのため「野村グループ喫煙対策」のメッセージをCHOより全社員へ発信。

2021年より「就業時間内禁煙」「喫煙室の廃止」に加えて、昼食休憩中に喫煙した場合は喫煙後45分以内にオフィスに戻らないよう推奨（当社は2023年より休憩時間も含んだ出社から退社まで禁煙推奨）。

また、禁煙治療・サポート費用の全額補助や禁煙成功者へのインセンティブポイントの付与も実施し、会社として喫煙対策を重視する姿勢を周知することにより、禁煙にいまひとつ踏み切れなかった喫煙者が禁煙しやすい環境を整備。



独自
事業

グループ
共通

ファイナンシャル ウェルビーイングの向上

人的資本の向上（DX 人材強化・ソリューション能力向上）による「知識集約型」ビジネスモデルへの移行と持続的成長の実現という中期経営計画に基づき、キャリア自律支援を行った。

自分と向き合う「キャリアデザインセミナー」の実施、ライフステージの変化を考慮しつつ将来の希望や目標を明確にする「キャリアデザインシート」の作成、管理職向けのワークショップ、年代別のセミナーを実施し、従業員自身が満足度の高いキャリアを描くために支援を行った。

またファイナンシャルウェルビーイングを向上させるため、野村ファイナンス・ウェルネス・プログラムの実施。

国の制度による公序、会社の福利厚生制度による共助、そして自助をうまく活用できるようパーソナルファイナンスの基礎を学び実践できるよう促した。動画は年代別で分かれており、意識するポイントをそれぞれ解説されている。

- NOMURA Financial Wellness Program -

野村の保険・健保・資産形成の制度



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

生活習慣病

喫煙

エンゲージメント

ヘルスリテラシー

NOMURA
 野村ビジネスサービス

コミュニケーション促進による ワークエンゲージメント上昇

グループ共通

● Teamsの導入

在宅勤務等、オフィスから離れている人とも気軽に質問や会話が行えるようになった。

独自事業

● 感謝祭の開催

複数事業所にわたる従業員が一堂に会し、パーパス研修や健康経営に関する案内・ラジオ体操の実施・懇親会等、他部署との交流機会を設けた。



● 1on1の実施

人事部とは独立したCHA（チーフ・ハピネス・アンバサダー）を設け、社員全員と定期的に1on1を行い、現在の悩みなどについて気軽に相談できる体制を整えた。



● 5社会での交流

金融業界のバックオフィスを担う5社による交流会を定期的実施。同業他社との業界課題や未来の展望について意見交換をすることで業界全体の活性化を目的としている。

2024年12月は当社に集まり【エンゲージメント向上】【お客様満足度向上（若手）】【お客様満足度向上（企画）】の3つテーマでディスカッションを行った。

【エンゲージメント向上】では各社の従業員のエンゲージメントを高めるための取組みが紹介された。やりがいが見えにくいという共通課題についても意見交換が行われ、若手社員に裁量を与えることが如何に重要かが話題となった。



● 社内イントラネットによるコミュニケーション促進

基礎年次社員の業務やプライベートについて投稿する「あすなろぐらむ」等を活用。どのようなことに興味関心があるのか知ることができ、投稿にコメントや、日ごろのコミュニケーションのきっかけづくりとなっている。





基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

生活習慣病

喫煙

エンゲージメント

ヘルスリテラシー

NOMURA
 野村ビジネスサービス

**独自
事業**

部店ごとによる自発的な健康増進活動

自社全体

健康情報の共有

社内掲示板にて書籍やオンラインセミナーで得た健康情報等が共有され、コミュニケーションがとられている。

また健康に関するセミナー等も各部で行われ社内掲示板にて実施報告されている。

「NBSコンダクトアワード」報告事例

報告者

タイトル

内容

♡ すてき! 10件

コメント一覧

日付	部店	名前	コメント

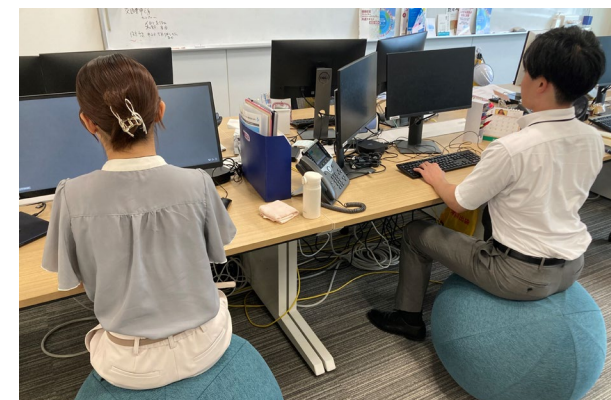
自社部店

ラジオ体操・バランスボールの導入

本社にて毎朝ラジオ体操の実施。

また椅子の代わりとして使用するバランスボールを導入。

運動習慣を取り入れるきっかけとなっている。



健康保険組合とのコラボヘルス



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラボヘルス



これまでの歩み

歯と口の健康

出張・提携医による歯科検診

歯科医師と歯科衛生士が各職場を訪問

健診後歯石除去・クリーニングを実施

職場に呼べない場合も、全国にある提携医の歯科医院にて健診可能



健康づくり事業

① 会員制スポーツクラブの優待利用

メガロス・コナミスポーツクラブ等の会員制スポーツクラブが優待価格で利用できる。

② 健康ポイント制度の導入

健康増進プラットフォーム「WellGo」を活用した健康ポイント制度を開始しました。

「歩数の目標数値を達成した方」「日々の生活習慣記録等に向けて取り組む方」に、ポイントを付与。

貯まったポイントに応じて、Amazonギフト券、コーヒー・アイスクリームクーポンなどと交換できる。

③ 健康増進セミナー

スポーツクラブ等と提携し、インストラクターによるセミナーを実施。オフィス開催・オンライン開催が選べ、エクササイズやメンタルヘルス・食生活改善等のテーマで行っている。

スポーツクラブの貸し切りイベントも実施され、利用機会がなかった人へのきっかけづくりも行えた。

これまでの歩みと各種の認定



基本方針



ゴール



主な取り組み



コラポヘルス



これまでの歩み

